



# 木葉小便り

令和4年6月20日(月)発行

文責 校長 吉野 新吾

町案内パネル(木葉山頂)

## “分かること”は、うれしいこと、楽しいこと

昨年度の学力の実態から、木葉小の子供たちの課題は、「自分の考えを持ち、表現する力」であることが分かりました。そこで、本年度の研究テーマを職員みんなで考えて、以下のとおりに決めました。

### 《研究主題》

問いを発し、課題に主体的に立ち向かい、学びを深める子供の育成  
～自分の考えを持ち、表現する力を育てる国語科の授業の創造～



学び合いの場面を大切にします。



1年生だって話し合いができます。



よく見て  
よく聞いて  
よく話す  
木葉っ子

郷土玩具の「木葉猿」の「逆三猿」をマスコットとして、研究主題に沿って「よく見て、よく聞いて、よく話す」児童の育成を目指します。

熊本県教育委員会が推進する「熊本の学び推進プラン」には「『**学ぶことのすばらしさ、楽しさ**』を子供たちに伝え、**共感することによって実現させるもの**」と示されています。

教師が教えようとしたことが、本当に子供たちに伝わっているのかを確認しながら進めていきます。授業の中に子供たちの「**出番があるか!**」「**居場所があるか!**」ということを問いながら、“分かる授業”づくりを目指します。木葉小学校を、賢くなり、自信のつく場所にしたいと思っています。

## 置いておくだけで

校長室前に、自由に触れるように“おじぎ草”を置いています。

「おもしろいね。」「不思議だね。」「何でだろう?」と言いながら触っていきます。置いておくだけで、子供たちの知的好奇心を刺激していることが分かります。

「おじぎ草に負けないように、あいさつができていますか?」と声をかけることもあります。

身近ないろいろなものが教材になります。



## 木葉小学校が表彰されました。

6月4日(土)熊本県PTA連合会定期総会(嘉島町民会館)にて、木葉小学校のこれまでのPTA活動が評価され、表彰を受けました。

内田会長が会員を代表して表彰状をいただけてきました。表彰状は校長室付近の廊下に掲示しています。学校に来られた際には是非ご覧ください。



表彰式での内田会長